

7月18日、白女合唱祭が名取市文化会館を会場に開催された。生徒は、体育祭での優勝とこの合唱祭でのグランプリを獲得することが誇りであり、クラス一丸となってその誇りを目指す。多くの皆さんに白女最後の合唱祭を見ていただきたいと、会場を例年開催していたえびさホールから変更。生徒の家族や同窓生など700人を超える皆さんで満員となった。



6



7



8



5

5 生徒たちの思いが会場に響き渡った 6 伴奏にも自然と力が入る 7 「白女フレンズ」の全員合唱では笑顔とともにこらえきれず涙が… 8 優勝を飾った3年4組の皆さん

●合唱祭実行委員長
おおは 大場みどりさん

白女最後の合唱祭ということで、どのクラスもグランプリを狙って練習にも熱が入っていました。クラスごとに問題を乗り越えて、今日の素晴らしい結果になったと思います（言葉に詰まりながらインタビューに答えてくれた）。



1

1 綱引き決勝戦は2009年8月号の表紙を飾った 2 勝負を前にクラスで円陣を組む 3 リレーは選手も応援も熱が入る 4 障害物リレーは笑い声が響き渡った

●体育祭実行委員長
よしだ 吉田 沙織さん

3年生は昼休みに集まって練習をしていました。クラスごとだけでなく、みんながひとつになって応援できたので良い結果となったと思います。統合しても、ぜひ続けてほしいと思います。



2



3



4

審査の結果、3年4組が体育祭に続いてグランプリを獲得し、白女合唱祭は幕を閉じた。

【審査結果】
★グランプリ…3年4組
・金賞…3年2組
・銀賞…3年3組
・銅賞…3年1組・2年1組
・学年賞…1年5組・1年4組

美しく響く声！
チームワークの集大成

白女最後となった合唱祭は、まさに特別だった。各クラスがグランプリを狙って、選曲にも練習にも力が入っていた。

合唱祭は課題曲（校歌3番）と自由曲に分かれ、どのクラスも素晴らしい合唱が続いた。最後の合唱祭には、統合した後も合唱祭を残したいとの思いから、初めて白石高校の生徒26人と教員5人が参加し、全員合唱に加わった。そして、生徒全員によるスクールソング「白女フレンズ」の合唱が始まると、涙を流す生徒や家族、同窓生もおり感動のフィナーレを迎えた。

審査委員長の細淵誠一さんは、「皆さんがこの演奏を作り上げたことは、何よりもクラスごとのチームワークを作り上げたということ。皆さんの演奏は素晴らしいものでした。」と心からの賛辞を述べた。

熱き戦い！
互いの意地がぶつかり合う

初日の球技大会は、バレーボールとバスケットボール、ドッチボールそして卓球の4種目で争われた。2、3年生は所属する部の競技には出場できないが、1年生はそれが認められている。そのため、初日の球技大会が終わった時点で、1年のクラスが上位を占める。

2日目は陸上競技。この日は梅雨の中休みで朝から強い日差しが照り付け、これから始まる熱戦に拍車をかけた。そして、競技が進むにつれ、気温も熱気も急上昇！毎年、工夫を凝らして行われる障害物リレーでは、小麦粉の中のアめを取ろうと思いつき顔を粉に突っ込むチームもあり、会場には大きな声援と笑い声が響き渡った。

気温も気合も最高に達したのは、最後の競技となった綱引きの時。決勝戦の3年4組と2年5組の対戦は、総合優勝を懸けた大一番となった。競技開始の雷管の轟音が響き渡り、綱がきしむ音が応援の大きな声援にかき消された。結果は3年4組が勝利。2日間に渡った熱戦を制して見事総合優勝を果たし、白女体育祭の最後を飾った。

白女三大祭—LAST 有終の美